



平成22年5月28日

各位

会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ  
代表者名 代表取締役社長 西澤 庄藏  
(コード番号: 5726 東証第一部)  
問合せ先 総務部長 岡田 宗久  
(TEL. 06-6413-9911)

## 多結晶シリコン製造設備の操業再開見通し並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社多結晶シリコン製造設備につきましては、平成22年5月7日にお知らせしておりますとおり、一部設備が高圧ガス保安法に抵触していることが判明したため、兵庫県の指導のもと現在操業を一時停止し、同法に対応するよう設備改善に着手しておりますが、今般操業再開に向けての目標スケジュールが固まりましたのでお知らせします。またこれに伴い平成22年4月28日に公表しました平成23年3月期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 多結晶シリコン製造設備の操業再開見通しについて

##### (1) 操業再開時期(目標)

・平成22年8月末(平成22年5月21日操業完全停止)

なお、現在建設中の岸和田工場につきましても同様の法対応のため、一部設計内容の変更が必要なことから、完成時期に若干の影響が出る可能性があります。

##### (2) 再開時の生産水準

操業再開時の生産水準につきましては、最速での立ち上げを目指し高圧ガス保安法の制約の範囲内である年産900トンレベルとします。従来年産1,500トンから引き下げとなりますが、今後関連法令を遵守しつつリカバリー策を検討してまいります。

なお、岸和田工場につきましては、完成後は計画どおり年産2,200トンの生産を見込んでおります。

##### (3) 業績への影響

今回事態に伴う平成23年3月期業績への影響見通しは次のとおりです。

(前提: 8月末操業再開)

(億円)

	第2四半期累計期間	通期
売上高	29	59
営業損益及び経常損益	1	+5
特別損益	13	13
当期純損益	9	5

- ・売上高は、操業の一時停止並びに再開時の生産水準引き下げによる減産に伴い減少を見込んでおります。
- ・営業損益及び経常損益は、生産・販売減による悪化はありますが、岸和田工場稼働時期に若干の影響が出ることによる減価償却費の減少を見込んでおります。
- ・特別損益は、操業停止(5月~8月)に伴う減産損失を見込んでおります。

## 2. 業績予想の修正

### (1) 平成23年3月期 第2四半期累計期間業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,400	1,100	1,500	1,000	27 17
今回修正予想(B)	12,500	1,200	1,600	1,900	51 63
増減額(B - A)	2,900	100	100	900	-
増減率(%)	18.8	9.1	6.7	90.0	-
(ご参考)前年同期実績 (22年3月期第2四半期)	17,352	1,863	1,173	638	17 36

### (2) 平成23年3月期 通期業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,400	2,800	3,800	2,400	65 22
今回修正予想(B)	26,500	2,300	3,300	2,900	78 81
増減額(B - A)	5,900	500	500	500	-
増減率(%)	18.2	17.9	13.2	20.8	-
(ご参考)前期実績 (22年3月期)	31,908	1,563	435	124	3 38

### (3) 修正の理由

前頁1.(3)業績への影響に記載のとおりです。

なお平成23年3月期の配当につきましては、当初予定どおり1株につき10円を計画しております。

\* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上